

1. はじめに

90年代中頃から世界的に急速に普及したネットオークションによって現在、不特定多数の国や職業を問わない人々がインターネットを通じて様々な物を取引している。しかし、その半面多くの人が自由に参加するため、出品情報にはムラがあり、本当にユーザーが求める物を探し出すのにオークションサイト側が完全に対応しているとは言えない状況である。そこで本研究では文字通り情報の海とでもいうべきネットオークションから、個人が求める情報を最適に提供する手法を提案する。

また今回は数あるオークションサイトから世界最大手のシェアを誇るアメリカ”eBay.inc”が提供するサービス”eBay.com”をテストモデルとする。

2. 概要

サイト”eBay.com”上で公開されている情報を元に、HTMLの構文解析を行い、無駄な情報を除き、必要最低限の情報にまとめ、あるいは必要な情報を付加し再構築する事によってユーザーの本当に求める情報を提供する。

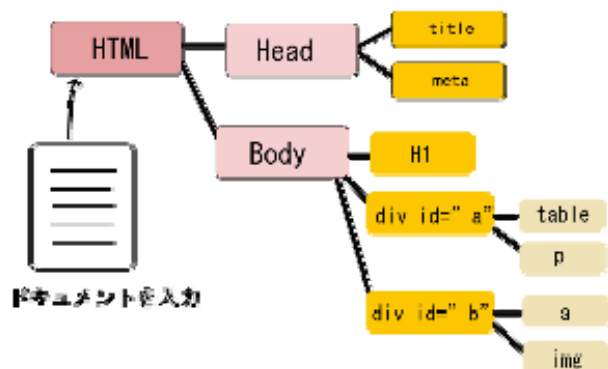


図 1. HTML 構文解析

オークションの詳細等が公開されている HTMLドキュメント(ツリー構造)を解析し、扱いやすい形にデータを変形し、それを元にして情報の再構築を行う。また不足があれば外部から参照し追加することで補う。

オークション終了後”eBay.com”では参照できなくなるデータを統計化し保存することによって利便性を高める事も可能だと考えられる。ここでも先の解析結果を使用し、商品名やカテゴリ、落札価格や取引に使用される通貨などの諸々の要素を記録

する。また、ここで通貨換算レートを外部から取得し与えておくことによって公式ではサポートされていない日本円表示となり、一般の日本人にも直感的に情報を伝えることが可能となる。

また、各々の情報の検索はパーサを用いて行う。Web ページを構成する HTML 文書は、コンテンツ本文を含むテキストに一定の書式情報をつけて作成したものであり、HTML パーサは HTML 書式ルールにそって(図 1)のように各アイテムに重さを持ったツリー構造として出力することが出来る。

処理の流れとしては、解析を行いプログラムで扱いやすい形にデータを変換した後に出力し、後から閲覧可能なように形式化してまとめる。ここでは情報のフィルタリングも重要となる。

3. 期待効果

現在”eBay.com”では日本語表示を公式にサポートしていない。そのために一般の日本語利用者にとっては通貨表示だけですら馴染みづらく感じられる。そこで先に述べたように情報を再構築する際に通貨レートから日本円換算を付与することで、日本人も直感的に情報を得ることができる。

また定期的に保存した統計情報を参照することによって、ある商品の価格相場を把握する事も可能になる。

4. おわりに

今現在も出品数 10 億を越えるとされている”eBay.com”において、その煩雑なデータを整理し、最適に情報を提供できることが可能となれば、ユーザーはより快適にネットオークションを利用できると考えられる。

また評価には実際に実装したシステムをユーザーに使用してもらうのが良いと考えられる。現時点で実際に”eBay.com”を利用しているユーザーの他、全く利用したことがないユーザーも含め広い層への意見を得ることが理想である。

参考文献

- [1] 青柳龍也, “Java API プログラミングガイド” クオリティ株式会社(1996/10)
- [2] スティーブン・ジョン メツカー他, “Java によるパーサ構築技法” ピアソンエデュケーション(2001/11)